



令和2年度第1回 鹿部町「対話ミーティング」

令和2年10月30日(金)18時00分～

中央公民館

■はじめに…「対話ミーティング」とは

町民皆さまとの
意見交換

どのような事業なの？

こんなことしてほしい！

どうすればいいの？

ご要望

ご意見

ご質問



町民皆さまによる
“まちづくり”へ

■本日説明する内容

- 新型コロナウイルス感染症対策事業について
- 令和2年度事業の概要と進捗状況について

部署名	令和2年度事業
総務・防災課	●鹿部町役場新庁舎建設
保健福祉課	●鹿部町子育て世代包括支援センター事業
水産経済課	●ウニ畜養試験事業 ●鹿部町地域就労サポートセンター事業
食と観光推進室	●山村活性化対策事業
生涯学習課	●オンライン学習環境整備事業 ●GIGAスクール構想推進事業

- 鹿部町地域公共交通運行計画案について

■ 新型コロナウイルス感染症 対策事業について

■新型コロナウイルス感染症対策事業

新型コロナウイルスの感染症の拡大の防止と地域経済や住民生活を支援するために国が創設した臨時交付金を活用して、町民の生活を守り経済を立て直していくため実施

◆事業費：235,098千円 ◆財源内訳：225,525千円(臨時交付金)、9,573千円(一般財源)

経済対策

- 事業者等緊急支援事業：46,940千円
(漁業者、中小企業、医療機関・介護サービス関係事業者、交通事業者への支援金)
- 水産業等へ支援事業：38,358千円
(事業継続補助金、種苗購入支援、カキ養殖試験への助成、水産業人材育成支援)
- プレミアム商品券販売事業：11,005千円



感染予防

- 教育支援事業：37,950千円
(オンライン学習環境整備、図書除菌備品購入、自動手洗器及び給湯整備)
- 公共施設整備事業：42,067千円
(役場新庁舎、各公共施設の感染予防整備、避難所備品購入、消防用感染備品購入など)
- コミュニティバス委託事業：2,772千円
- インフルエンザ予防接種：3,594千円



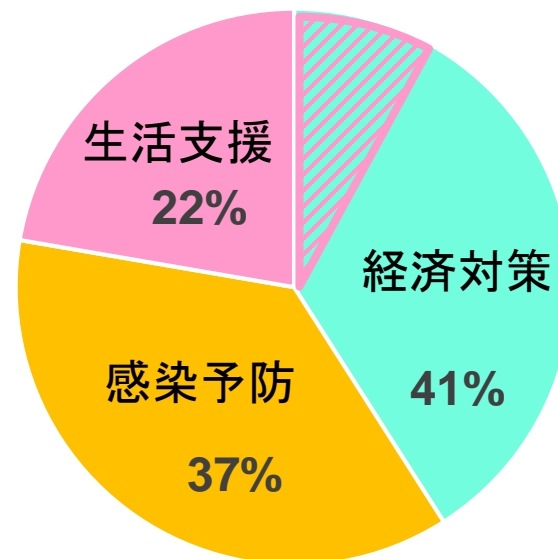
生活支援

- 水道料金減免事業：9,000千円
- しかべ応援券発行事業：41,912千円
- 子育て定額給付金事業：1,500千円



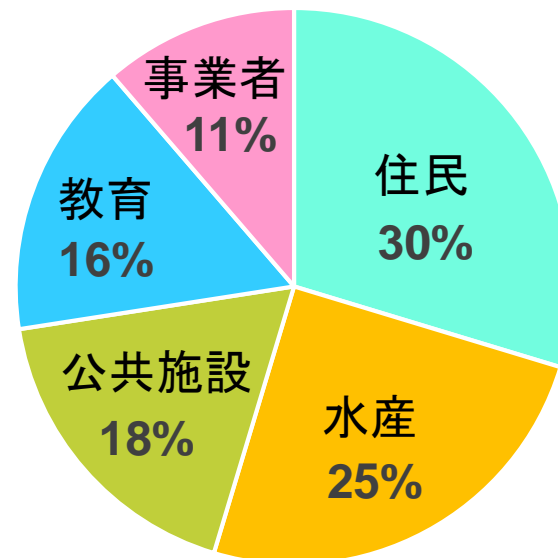
目的別割合

目的	金額(千円)
経済対策	96,303
感染予防	86,383
生活支援	52,412
総事業費	235,098



対象別割合

対象	金額(千円)
住民	69,783
水産	58,698
公共施設	42,067
教育	37,950
事業者	26,600
合計	235,098



■ 令和2年度事業の 概要と進捗状況について

■ 役場新庁舎建設事業

令和元年7月に策定した基本計画に基づき、設計業務を令和2年3月に完成させ、同年6月から令和3年3月までの工期で建設工事を実施

- ・ 事業費：1,570,000千円
- ・ 財源内訳：1,250,400千円(地方債)
319,600千円(基金)



令和2年9月末現在の様子

鹿部町子育て世代包括支援センター

妊娠・出産・子育てに関する様々な相談に応じ、安心して妊娠期から子育て期まで過ごせるよう、切れ目ない支援を提供

- ・ 事業費：694千円
- ・ 財源内訳：694千円（一般財源）

- ・ 産前・産後サポート事業
- ・ 産後ケア事業
- ・ 新生児聴覚検査費用助成
- ・ お誕生祝い品贈呈事業
（しかべびーボックス贈呈事業）



子育ての悩みを聞いてほしい

出産準備は何をすればいいの？

母子健康手帳を発行してほしい

子供が順調に成長しているか心配



支援

相談

鹿部町子育て世代包括支援センター

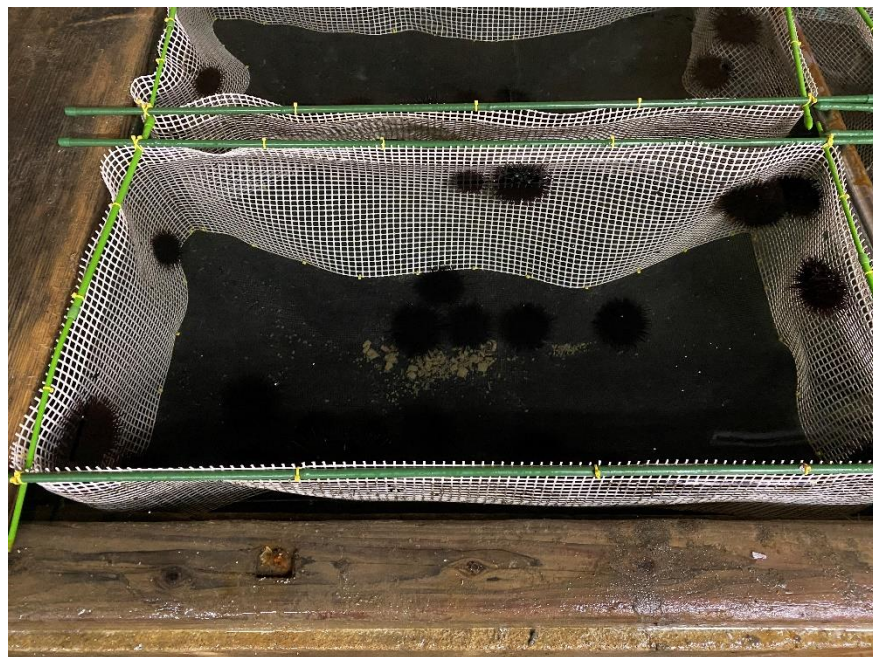
連携

相談を聞き、必要なサポートにつなぎます
医療機関・幼稚園・行政機関
児童相談所・民生委員 等

■ウニ畜養試験事業

漁業法の改正に伴い、たくさん獲ることから高く売ることへの変換を考える必要性が出てきたことから、品質向上の取組としてウニの畜養試験を実施し、事業化につなげる

- ・ 事業費：800千円
- ・ 財源内訳：800千円（一般財源）

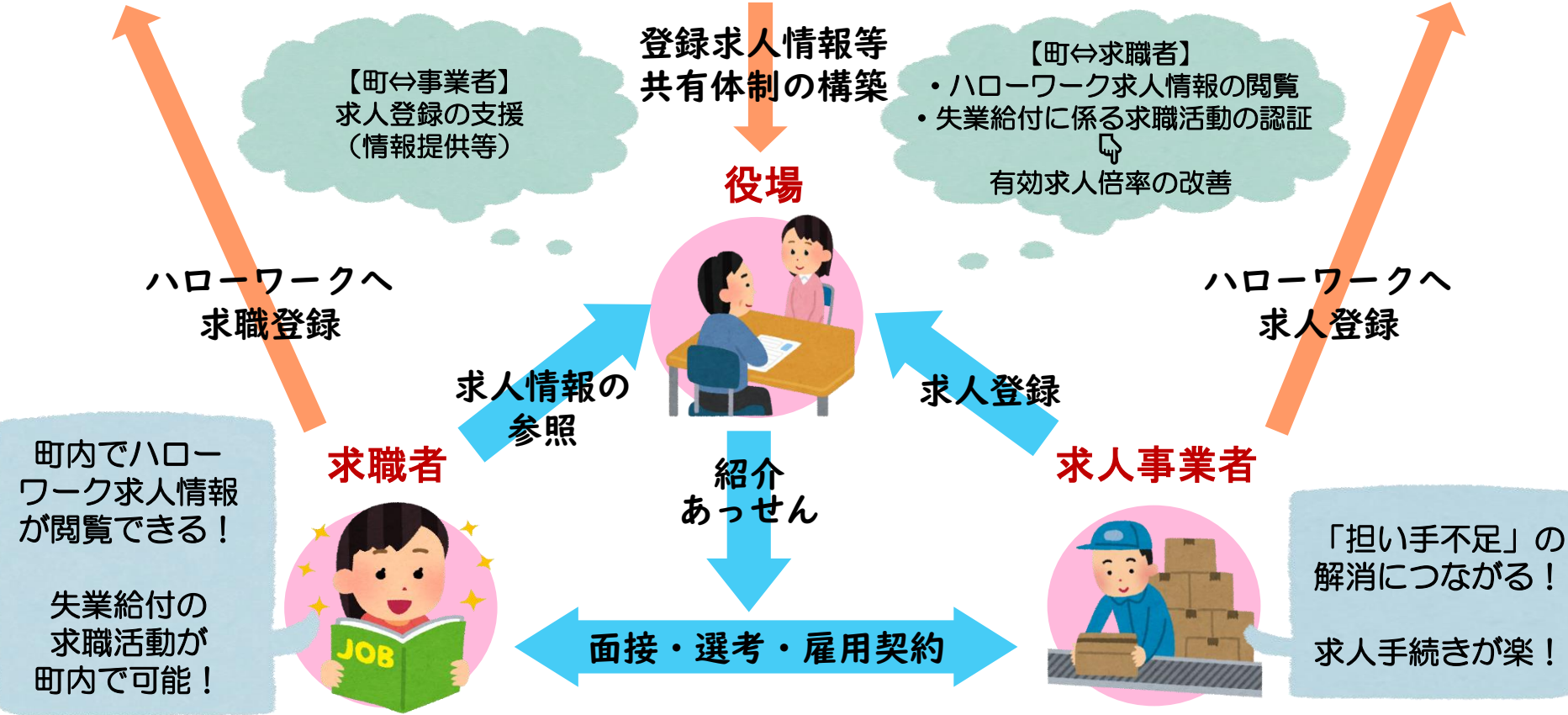


- ・ 採捕したウニを水槽で給餌して畜養
- ・ 殻径、重量、水温、斃死個体数等を計測し、生育度等を調査
- ・ 試験結果から事業化の可能性を検証

鹿部町地域就労サポートセンター事業

町内事業所の人材確保、町民の雇用機会の拡大及び町内への定住促進を図ることを目的に、無料職業紹介事業や求人情報の提供

北海道労働局・函館公共職業安定所(ハローワーク函館)



■山村活性化対策事業

- ・事業費：10,018千円
- ・財源内訳：10,000千円（交付金）、
18千円（一般財源）

農林水産業及びその基盤となる農山村の振興を図るための取組に対し重点的に国が支援

- ①地域資源を活用するための合意形成、組織づくり、人材育成
- ②消費拡大と販売促進、付加価値向上等を図る取組み



山菜の半栽培化



研究会の様子



干したらこ

オンライン学習環境整備事業

鹿部町立学校に在籍する全ての児童生徒を対象に、家庭でのオンライン学習環境を整備

- 児童生徒に家庭学習用タブレット端末を貸与
- 学習支援教材の導入
- 通信環境の確保
- 不測の事態への対応

・事業費：12,200千円
 ・財源内訳： 804千円（補助金）
 11,376千円（臨時交付金）
 20千円（一般財源）

【通常時】

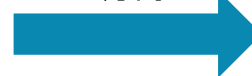


教員が児童生徒の
学習状況を確認できる



学習支援ソフトの活用

一方向



家庭学習(学校の宿題)で
タブレット学習

【臨時休業時】



教員が児童生徒の
健康状況を確認できる



テレビ会議システム
の利用

双方向



家庭で朝礼に参加

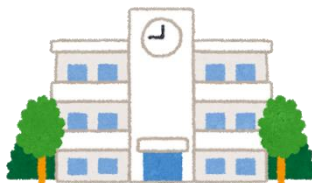
■GIGAスクール構想推進事業

ICTを活用した多様な学習を推進

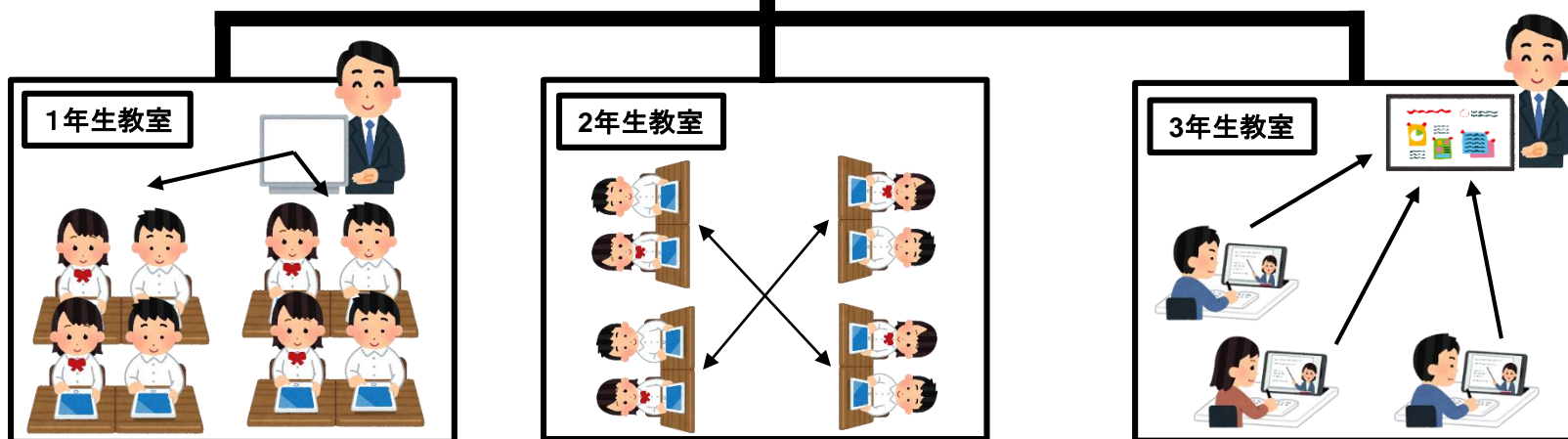
- 小中学校の高速大容量通信ネットワーク整備
- 児童生徒用端末の整備
- 授業用端末(教員用)の整備
- ICT支援員の配置

・事業費 : 41,659千円
 ・財源内訳 : 16,264千円(補助金)
 9,120千円(交付税)
 6,516千円(臨時交付金)
 9,759千円(一般財源)

高速大容量の
校内ネットワーク



一人1台の端末を使用した授業の展開



どの教科においても、オンラインでの協働学習、調べ学習等が学年・個人で可能となり、教科の学びを深めること、教科の学びを繋ぐことが可能となる。

■鹿部町地域公共交通 運行計画案について

■これまでの取組

～様々な課題～

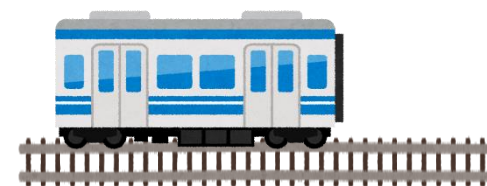
バス利用の低迷

少子高齢化

人口減少



継続的な生活交通の確保



平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> ○公共交通ニーズ及び利用状況の把握 ・各種アンケート実施
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ○交通課題の共有 ・地域公共交通フォーラム、町民ワークショップの開催
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ○具体的な運行内容の検討 ・地域公共交通勉強会の開催 ・住民及び関係者ヒアリングの実施
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ○実証運行による検証 ○鹿部町地域公共交通網形成計画の策定

■地域公共交通運行計画案

～目的～

○継続的な町民の生活交通の確保

令和3年5月の本格運行に向けて鹿部駅線を再編

市街地での運行ルートの変更

現状	道道大沼公園鹿部線を中心とした運行ルート
変更後	通学や町民ニーズに即した運行ルート

日中時間帯の便の追加

現状	日中時間帯に町内施設を循環するバスの不足
変更後	週3日、日中時間帯のバス運行を3便追加

- ・10時～13時の便を追加
- ・火、水、土曜日の運行を予定

■運行ルート案(主な変更箇所)



○小中学校やいこいの湯等の各施設に立ち寄るルートへ変更

○大岩・リゾート地区については、デマンド交通を検討(令和3年秋予定)

●鹿部役場 (新庁舎)

■車両・運賃・スケジュール(案)

～使用車両～

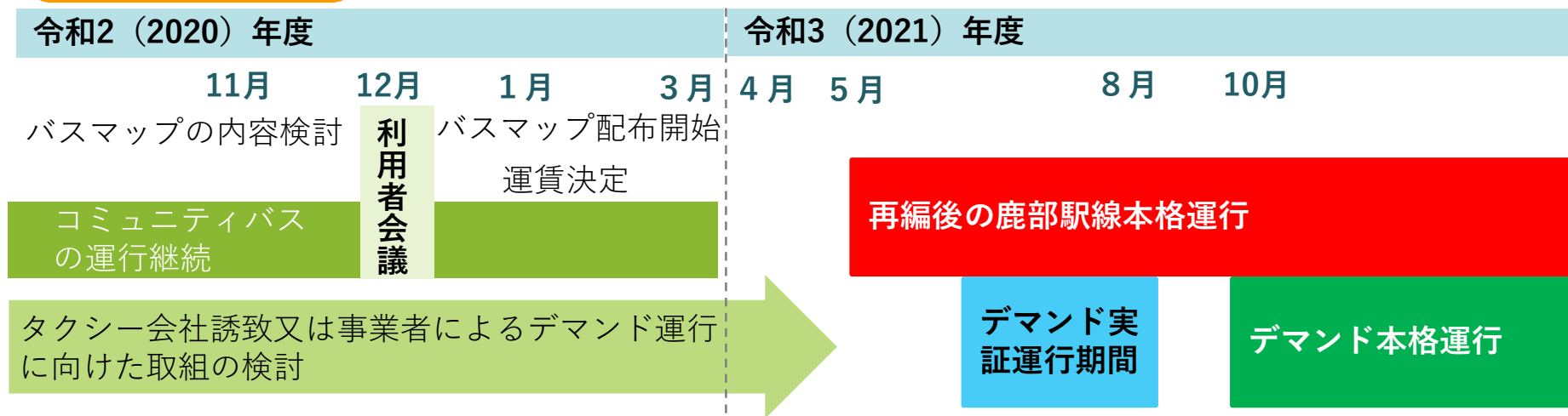
- 小型バス購入、函館バス(株)が運行
- 乗車定員33人(座席18人、車椅子での乗車可能、1ドア)



～乗車運賃～

- 通常員賃、通学用定期券、免許返納高齢者への助成を検討中

スケジュール



■地域公共交通利用者会議

○地域公共交通について情報共有し、住民皆さんと意見交換

～今までの会議内容～

バス運行ルート

バス車両

バスマップ

バス乗車運賃

乗車体験ツアーや、実際に案内することでイメージをつけることができるのでは



バスマップは、絵と文字が大きく、バスの乗り方が見やすいものがよい

皆さんのご参加をお待ちしています。

※バスマップ

バスの運行ルート、時刻、運賃、乗り方などを掲載した冊子

■意見交換・質疑応答

- 令和2年度事業について
- 鹿部町地域公共交通運行計画案について
- 町の政策全体について
- 確認したいこと

など

ご意見・ご質問は
ございますか？





令和2年度第1回 鹿部町「対話ミーティング」

ご来場いただきありがとうございました

